

#### 4. 人口の将来展望

《目指すべき将来の方向》

- ①若者・子育て世代が安心して結婚・子育てできる環境を創出する
- ②まちの住みよさの向上・PRにより移住・定住を促進する
- ③少子高齢型社会に対応した地域活力を創造する

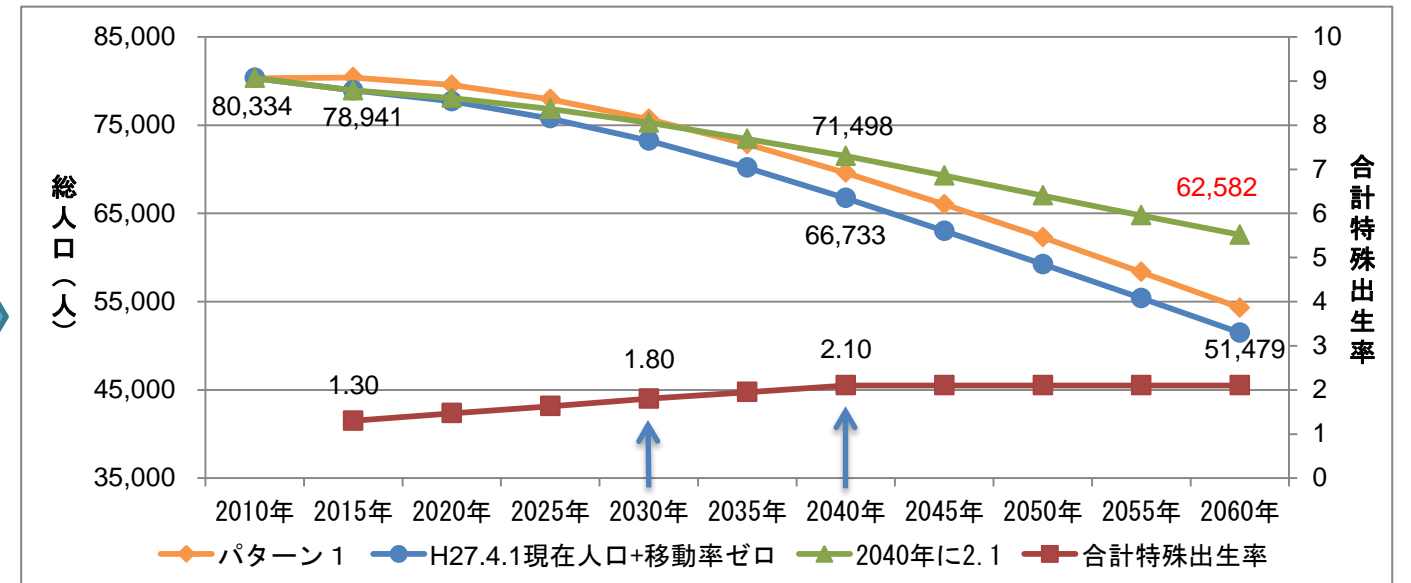
①

《人口増加に向けた新たな目標の設定》

- ・合計特殊出生率は、2030年に1.80、2040年に2.1に上昇する
- ・人口移動（社会増減）は、ゼロに設定する

目標人口：2060年62,600人

老年人口比率：2060年32.4%



《目指すべき将来の方向》

- ①若者・子育て世代が安心して結婚・子育てできる環境を創出する
- ②まちの住みよさの向上・PRにより移住・定住を促進する
- ③少子高齢型社会に対応した地域活力を創造する

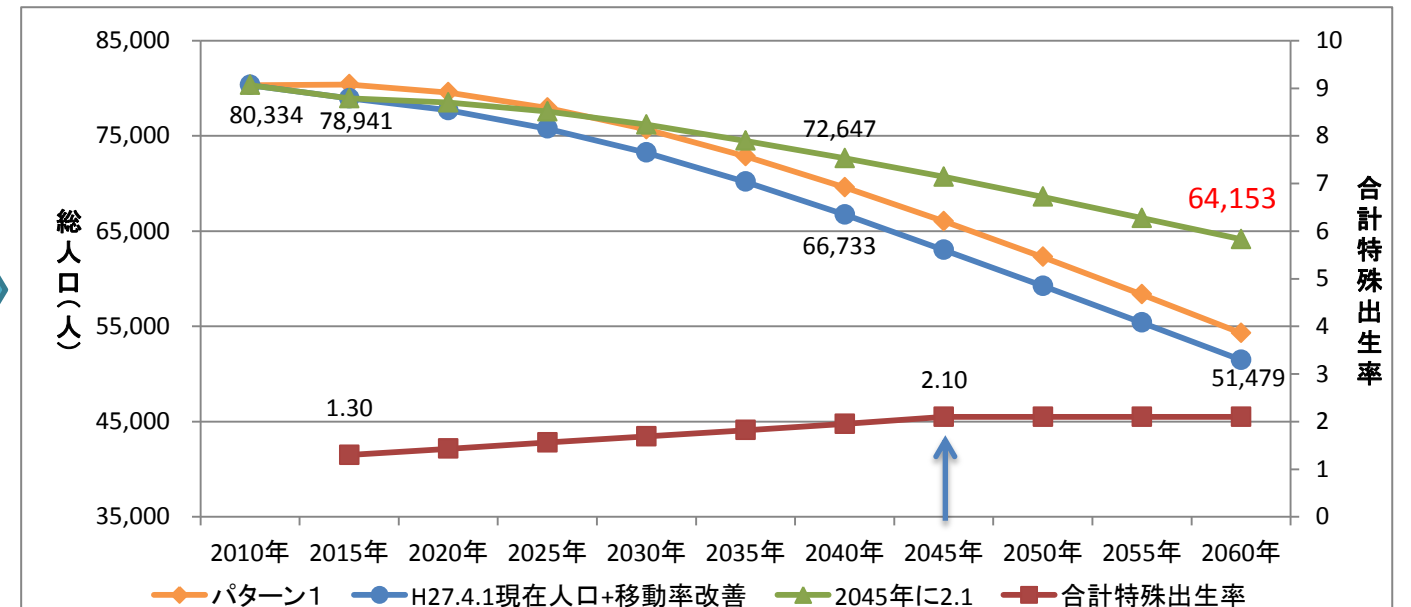
②

《人口増加に向けた新たな目標の設定》

- ・合計特殊出生率は、2045年に人口置換水準2.1に上昇する
- ・人口移動（社会増減）は、10代・20代のうち大幅超過する年代の転出について20%減らし、30代を中心に子育て世代とその子ども世代（0代）については転入を20%増やす。それ以外の世代は社人研の推計に準拠する

目標人口：2060年64,200人

老年人口比率：2060年33.7%



《目指すべき将来の方向》

- ①若者・子育て世代が安心して結婚・子育てできる環境を創出する
- ②まちの住みよさの向上・PRにより移住・定住を促進する
- ③少子高齢型社会に対応した地域活力を創造する

③

《人口増加に向けた新たな目標の設定》

- ・合計特殊出生率は2030年に1.80、2040年に2.1に上昇する
- ・人口移動（社会増減）は、10代・20代のうち大幅超過する年代の転出について20%減らし、30代を中心に子育て世代とその子ども世代（0代）については転入を20%増やす。それ以外の世代は社人研の推計に準拠する

目標人口：2060年65,600人

老年人口比率：2060年33.0%

